

# 県立高再編意見聴取へ

県教委

## 11月から来春計画たたき台

県教委は25日、臨時教育委員会を開き、来年4月に県立高校の再編計画（2019～23年度）のたたき台をまとめることなどを決めた。計画づくりに当たっては、11月から教育委員が県内5地域を回り、地域の代表に意見を聴くことにした。

県立高校の再編は生徒数減少や南海トラフ地震への対応を目的に、県教委が14年度から10年間の再編振興計画を策定して取り組んでいる。高知南中高、高知西高の統合などを盛り込んだのが前期計画で、これからつくる計画が後期分になる。

前期計画は、一部の学校関係者だけに意見聴取し県教委事務局がたたき台をつくったため、対象校の保護者らから反対意見が続出。修正した経緯がある。この反省から、今回は県内で広く意見を聴いた上でたたき台をつくることにした。

11月から県内を東部、中部、北部、高吾、幡多に分けたら地域で、県教育委員でつくる教育委員会協議会を開催。地元教育長や首長らから意見聴取する。

その上で、具体的な学校名などを盛り込んだ再編案のたたき台をつくり、来年4月に公表する予定。その後、来年12月に後期計画に対象校の関係者らに意見を聴くなどし、来年12月に後期計画を策定する予定。

田村壮原県教育長は「前期計画では、たたき台を突然発表したことで混乱があった。今回は早い段階から地域の話聴きオープンな形で議論を進めたい」としている。

（石丸静香）